

保全対象に関わる要因

保全対象	鍵となる条件	衰退要因	元凶

保全計画








保全対策	保全対策の モニタリング	保全対象の モニタリング

保全対象

鍵となる条件・要素

衰退要因

補足資料①の例 「対象地域でみられる生物種のリスト」

種名	生育・生息環境と生態	食性(動物のみ)	個体数や繁殖状況のモニタリング方法	情報の出典
キツネ 	都市郊外から山岳地まで様々な環境に住むが、森林と畑地が混在する里山を好む。主に丘陵地の斜面などに穴を掘って繁殖する。 行動圏:500~5000ha	雑食性だがネズミ類やノウサギなどの小型哺乳類を主食とする。	赤外線センサー付きカメラにより撮影し、個体数を比較する。	・生息記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
アナグマ 	丘陵部から低山帯の森林環境に棲息する。地中に穴を掘り家族単位で生活する。 行動圏:200~400ha	雑食性(土壌生物や小動物、果物など)	(A)赤外線センサー付きカメラにより撮影し、個体数を比較する。 (B)溜め糞の分布を調査する。	・生息記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
ニホンアカガエル 	成体は湿度の安定する広い森林の林床や林縁で生活し、春先に周辺の湿田や浅い湿地などの止水域で産卵する。 行動圏:300m程度	幼生:水中の枯れ草や小動物 成体:昆虫など	春先に定期的に卵塊の数を数え、総数を記録する。	・生息記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
イシガメ 	河川の上・中流域、山間や山際の湖沼、低湿地、水田に住む。冬は水中の横穴や堆積した泥や落ち葉の下で越冬する。河川敷内の砂地や水田に近い畑や畦などに穴を掘って産卵する。 行動圏:複数の水辺を利用し、数kmの範囲を動くこともある。	雑食性(植物・昆虫・ミミズなど)	トラップによる標識再捕獲を行い、個体数を記録する。	・生息記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
ゲンジボタル 	流れの安定した小川に生息。幼虫は水中で生活し、その後上陸して土の中で蛹になり、成虫は水辺の草むら・林縁で生活する。	幼虫:カワニナ 成虫:水分のみ	発光している成虫の数を記録する。	・生息記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
オミナエシ 	定期的に刈り取り管理された、日当たりのよい草地に生える多年草。ハナバチやチョウなど様々な昆虫により花粉を媒介する。		開花個体のおよその数と分布、結実状況を記録する。	・生育記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑
コウキヤガラ 	定期的な攪乱が生じることで維持される、草丈が低くて明るい湿地に生育する多年草。風により花粉を媒介。永続性のある種子や無性芽(むかご)を作る。		開花個体のおよその数と分布、結実状況を記録する。	・生育記録:〇〇の会の観察会記録 ・生態情報:〇〇大図鑑

補足資料②の例 「〇〇の里山で活動する市民団体のリスト」

団体名	活動場所	主な活動内容
〇〇調査会	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の里やま全域 ・周辺のため池 	<ul style="list-style-type: none"> *カエル卵塊数調査 *サンショウウオ卵塊数調査 *カメ類の分布調査、越冬調査
〇〇の緑を愛する会	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の里やま全域 	<ul style="list-style-type: none"> *森づくり(育苗、植樹、下草刈り) *竹林管理 (筍子掘、伐採、竹細工、竹炭作り) *水田づくりと水田の生き物調査
〇〇クリーンパトロール隊	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の里やまを含む町全域 	<ul style="list-style-type: none"> *ゴミ拾い、清掃活動 *森林管理(違法投棄のパトロール、下草刈り) *小学校での環境教育
〇〇農学びの会	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の里やま全域 ・隣接する〇〇集落 	<ul style="list-style-type: none"> *地元集落と共同での農作業 (竹林管理、下草刈り、水田づくり、林道の再生) *地酒づくり *ネイチャーゲーム